

第2次四国中央市自殺対策計画（案）に係るタウンコメントの結果について

1. 周知方法                    市公式ホームページ、市公式LINE、広報誌
2. 閲覧場所                 保健推進課、各窓口センター、三島図書館、川之江図書館、土居図書館、市公式ホームページ
3. 募集期間                 令和6年12月24日～令和7年1月22日（30日間）
4. 提出者数                 2名
5. ご意見等の件数           3件
6. 修正した件数             0件

7. 意見の要旨及び市の考え方

（いただいた意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させていただいております。）

NO.	意見の要旨	市の考え方	計画修正の有無
1	<p>本市での自殺者数が決して少なくないことにショックを受けました。私自身、相談機関へ悩み相談に行ったことがあります。</p> <p>医療機関や福祉施設で勤務した経験から、地域を挙げた包括的なケアが必須であると考えております。年代や性別にかかわらず、取りこぼさない取組は、行政機関だけの問題ではなく、地域住民すべての課題です。</p> <p>微力ながら、私もこれまでの経験を誰かのために活かしていけたらと思いました。</p>	<p>年代や性別にかかわらず取りこぼさない取組のためには、自殺を個人の問題ではなく、社会的な問題として考えることが大切と考えております。</p> <p>地域住民すべての方に自殺対策についての理解や関心を持っていただけるよう計画に基づいて対策を行っていきたいと考えております。</p>	無
2	<p>自殺については、独特の考え方があります。有名人が自殺すると、こちらへご相談くださいとテロップを映すだけです。それも大事なことです。命を自らで絶つということは、もっとも良くないことだということを、必ず主張すべきです。</p>	<p>自殺は、様々な要因により追い詰められた末の死であり、自殺者や自殺未遂者、その方の親族等の名誉は守られなければなりません。</p> <p>一人でも、大切な命を守ることができるよう計画に基づいて対策を行っていきたいと考えております。</p>	無

3	<p>学校でのいじめ問題について、前面に立って味方はできなくても陰で分かってあげればそれで十分です。そういう勇気のある者を育てる教育、孤独な人を守ることができる教育をしていくべきです。</p> <p>誰か一人でも味方がいると分かれば、自殺や登校拒否等もなくなるのではないのでしょうか。そんな呼びかけを教育現場でもしてもらいたいと思います。</p>	<p>学校生活においては、仲間づくり、絆づくりを大切に教育活動を行うことが大切であると考えます。</p> <p>子どもからの何らかのサインをいち早くキャッチできるようにすることと、子どもが抱えるあらゆる問題に対して、安心して相談できる人、場所の確保ができるように、今後も努めていきたいと考えております。</p>	無
---	---	---	---

本計画に関心をお寄せ頂き、貴重なご意見を頂きましたこと、心から感謝申し上げます。

今後も「誰も自殺に追い込まれることのないまち」を目指して、自殺対策を総合的に推進してまいります。